

# J.P.C



# MALLETS FOR FRESHERS

— 相性の良いマレットを探せ1 —

ちかごろの打楽器マレットは、国内外合わせてざっと30近くの会社によって生産或いは販売されています。種類も豊富で、キーボードマレットひとつをとってみても何百種も色々なマレットがあるわけです。この中から自分自身に合ったもの、用途に合ったものを選ぶのは至難の技といっても過言ではないはず。ひとつひとつを手にとってじっくり選ぶのがベストですが、多くの人には不可能なことでしょう。触ることもできない、資料も少ない、取り敢えず有名なメーカーのマレットを買ってみた。ところがどうも自分には合っていないようだ。などということ、ありませんか？

そこでJPCでは、少しでも皆さんの苦勞を取り除くことができたなら…と、代表的なブランドを紹介し、それぞれの特徴を挙げてみました。相性の良いマレットを見つけてください。今回はティンパニーとバス・ドラム編です。

\* \* \*

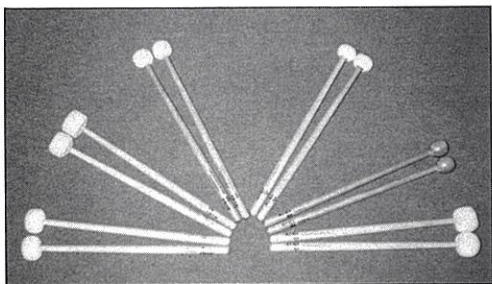
## I ティンパニーマレット

シャフト（柄）は木製が代表的で、次いで竹製、アルミ製、カーボン製などがあり、芯は木製が殆んどです。コルク製の芯も最近広く使用され始めました。フェルトはピアノのダンパーフェルトを主に使っています。手芸店で売っているフェルトは、芯の周囲や硬度の高いマレットに使用されます。

木製シャフトは一般的で使い易いのですが、各メーカーともグリップの太さやテーパーに工夫をしているので注意しないと思いにコントロールができない場合があります。竹や籐製シャフトのマレットは、オーケストラプレイヤーに広く使われています。木製シャフトのものに比べ非常に軽いので、コントロールが難しく、ちょっとした奏法の違いで音が生かすもするし死にもします。アルミシャフトは丈夫で価格も安いのでビギナーや練習用に向いています。

また、木製の芯だとヘッドが重めで、打った時にインパクトのある音が得られます。コルク製の芯だとヘッドが軽く、材質が柔らかいので強いインパクトが簡単に得られない反面、豊かな響きを引き出すことができます。このため、竹製シャフトとコルク芯のマレットの方がオーケストラプレイヤーに需要が多いようです。

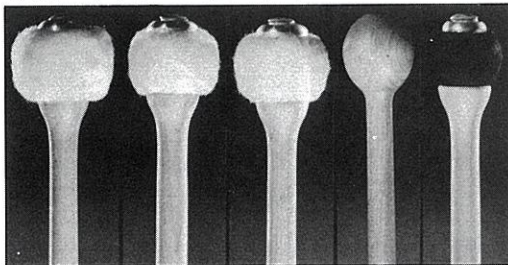
## ウィック・ファース（アメリカ）



品番	硬度	価格	品番	硬度	価格
T-1	S~MS	4,800	T-4	VH	4,400
T-2	S(ホイール)	4,800	T-5	VH(WOOD)	3,000
T-3	M~MH	4,800	T-6	S	5,200

〈特徴〉 世界中誰でも知っていると言っても過言ではない程有名です。全て木製シャフト、ウッド芯。全体的に重量があるのでパワーがスゴイ。シャフトが比較的太めなので、手の大きい人、力のある人向き。女の子や非力な人だとコントロールしきれない場合がある。人気機種はオールマイティに使えるT-3。

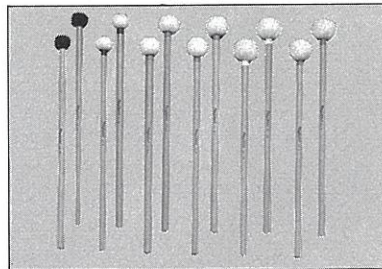
## ソウル・グッドマン（アメリカ）



品番	硬度	価格	品番	硬度	価格
1	MH~H	5,400	5	H~VH	5,400
2	M~MH	5,400	6	S(ホイール)	5,400
3	MS~M	5,400	7	MH	5,400
4	VH(WOOD)	3,000			

〈特徴〉 ヴィック・ファースと肩を並べる有名ブランド。木製シャフト、ウッド芯。シャフトの太さはヴィック・ファースより細く日本人向け。軽すぎず重すぎずのヘッドと中庸な太めのシャフトのせいか、女の子でも抵抗なく使えるしコントロールもし易い。人気機種は緑色フェルトでお馴染みのNO.5。

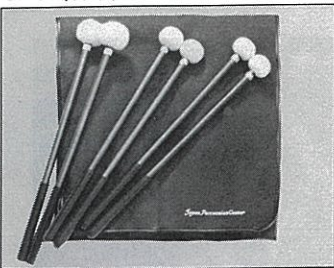
## プレイ・ウッド（日本）



ウッドシャフト(コルク芯)			竹製シャフト		
品番	硬度	価格	品番	硬度	価格
T13(T11)	VH	5,000	PRO	VH	7,000
"	H	5,000	"	H	7,000
"	MH	5,000	"	MH	7,000
"	M	5,000	"	M	7,000
"	MS	5,000	"	MS	7,000
"	S	5,000	"	S	7,000

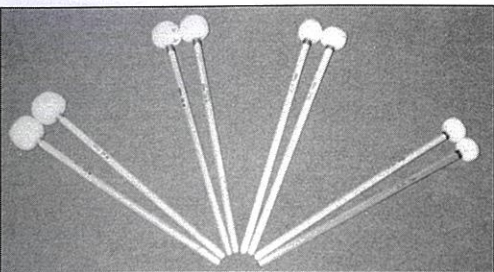
〈特徴〉 ラミンという非常に軽い木を材料にしてシャフトが作られているので、竹に近い感覚で演奏することができる上、コルク芯とウッド芯があるので用途に合ったものを選びやすくなっている。シャフトの太さも11mmと13mmの2種類が用意されている。他に竹製シャフト、コルク芯のプロモデルもある。

## JPC (日本)



品番	硬度	価格
—	H	3,500
—	M	3,500
—	S	3,500

〈特徴〉 アルミ製シャフト、ウッド芯。基本的な硬さだけを揃えたビギナー、エデュケイショナルタイプ。バランスも殆々に良く価格が安い。3組1セット販売もしている。価格13,000円。(ケース付) レフィーマ (西ドイツ)



品番	硬度	価格	品番	硬度	価格
27	MS~S	7,400	40	MS~S	3,700
28	M~MS	6,900	41	S(ホア)	4,300
29	MH	6,300	42	M~MS	3,700
30	H	4,800			

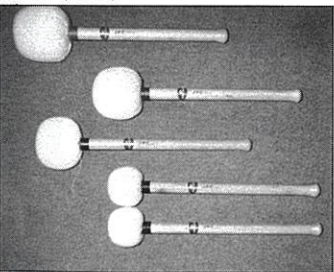
〈特徴〉 以前は竹製シャフトだったが、虫喰いや割れを解決するために籐に変えた。芯はコルクと木の2種類で、プレイウッドと同様用途によって選べるが、どちらかといえば、クラシック分野の人達向けのようだ。NO.30は、ダンパーフェルトを巻いている割にヘッドが大きくなく、柔らかすぎない硬さで、コルク芯にもウッド芯にも人気がある。

\* \* \*

## IIバス・ドラムマレット

たかが大太鼓と侮るなかれ。適当な大きさと、適当な硬さがあれば何でも良いというわけではありません。芯だって木製もあればコルクもあり、シャフトだって木製、竹製などとティンパニーマレットのようでしょう。バスドラムのマレットを選ぶに当たって最も重要なのは、自分達が使っている楽器の大きさを知ることです。いくら質の良いマレットを持っていても楽器とのバランスが合わなければ宝の持ち腐れになりかねません。

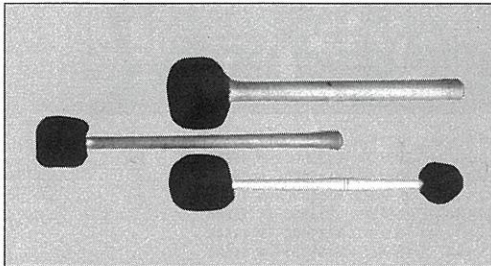
## JPC (日本)



品番	芯、適するサイズ	価格
BM-51	コルク芯。40"以上	10,000
BM-31	コルク芯。34"~40"程度	10,000
BM-21	コルク芯。30"~36"程度	8,500
BM-11	ウッド芯。ロール用(1pr)	13,000
BM-32	硬質フェルト芯。32"~36"程度	7,000
BM-22	硬質フェルト芯。28"~32"程度	6,000
BM-12	硬質フェルト芯。ロール用(1pr)	9,000
BM-41	ウッド芯セーム皮巻(1pr)	11,000

〈特徴〉 全てのモデルのシャフトは合竹で出来ていて、楽器を打った時の衝撃を少しでも緩和できるように考えられている。コルク芯のものにはティンパニーマレットと同様、豊かな響きを大切にしたい時に、硬い音が要求された時には硬質フェルト芯を使うと良い。BM-11は、ロール用の他にもハードマレットとして使うこともできる。BM-41は特殊マレットで、爆発的な音が要求された時に用いると良い。

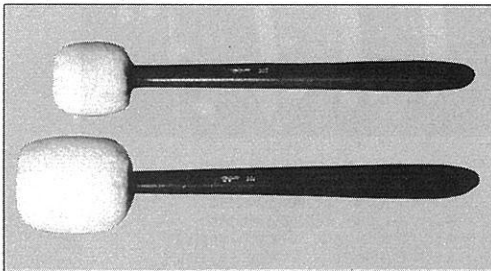
## ラディック (アメリカ)



品番	適するサイズ	価格
308	ホアヘッド 34"~40"程度	6,400
309	" ロール用	9,800
319	" 28"~32"程度	7,300

〈特徴〉 シャフトは木製。NO.308とNO.309はアル・ベイソンモデル。NO.308は、小さめのサイズの楽器には重量感のある音を、大きめの楽器にはマーチ等に適する立ち上がりの良いレスポンスを与えてくれる。NO.319は、1本でロールができるようにシャフトの両端にヘッドのついているお馴染みのマレット。しかし、ヘッドの大きさが違うこと、叩く場所が違ってしまい音色が変わること、コントロールしにくくフォルテができないこと等からロール用に使うことは少なくなっている。

## レフィーマ (西ドイツ)



品番	適するサイズ	価格
301	36"~40"程度	7,800
302	28"~32"程度	6,700

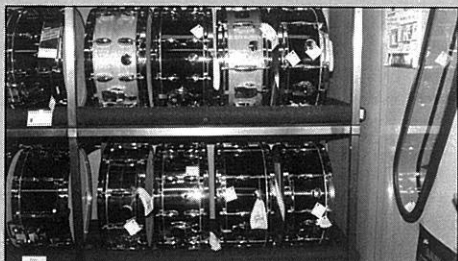
〈特徴〉 何のデザイン性もなく、コンサート用としてはたった2種類しかなく、いかにも“大太鼓の撥”という雰囲気を持っている。しかし、例えばNO.301はヘッドが大きくて重く、がっしりした木のシャフトでできているので、チマチマした音楽よりも大らかで底の方からズンと来る音を探している時のために出番を待つマレットといえる。小さい方のNO.302はロール用にも適している。

# Drumcity OPEN 4周年

JPC会員のためのスペシャルセール!

5/20 ~ 7/31

!!おまたせ 久々のGRETSCH SNARE DRUM  
「マニアの集い」 SALE ALL30%off!!

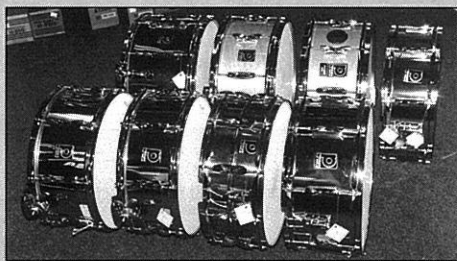


- ①4154WW 6½×14 10ラグ ¥128000→¥ 89600
- ②4155WW 6½×14 20ラグ ¥138000→¥ 96600
- ③4155WM 6½×14 20ラグ ¥138000→¥ 96600
- ④4157WW 5×14 8ラグ ¥114000→¥ 79800
- ⑤4157WM 5×14 8ラグ ¥114000→¥ 79800
- ⑥4158WW 5½×14 10ラグ ¥117000→¥ 81900
- ⑦4165BS 5×14 10ラグ ¥135000→¥ 94500
- ⑧4166BS 6×14 20ラグ ¥149000→¥104300
- ⑨4158WR 5½×14 10ラグ ¥117000→¥ 81900
- ⑩4155WR 6½×14 20ラグ ¥138000→¥ 96600
- ⑪M4155WR 8×14 20ラグ ¥149000→¥104300

\* (WW-Walnut, WM-Natural Maple, WR-Rosewood, BS-Brass Shell)

## !!!PREMIER SNARE DRUM SALE!

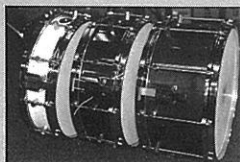
「安くなって再登場」



- #1005 スチールシェル 5" ¥37000→¥25900
- #1006 スチールシェル 6½" ¥41000→¥28700
- #20 プラスシェル 5½" ¥90000→¥63000
- #21 プラスシェル 6½" ¥95000→¥66500
- #2000 スチール/アルミ 5½" ¥73000→¥51100
- #2002 ナチュラルバーチ 6½" ¥77000→¥53900
- #2003 スチール/アルミ 6½" ¥75000→¥52500
- #2008 ブラックシャドウ 8" ¥97000→¥67900
- #2009 ナチュラルバーチ 6½" ¥97000→¥67900

## !!!SONOR 中古スネア情報

- ①D-506 メタル 6½" ファイバーケース付 ¥65000
  - ②D-508 メタル 8" ¥73700
  - ③D-518CW ビーチウッド 8" ¥67000
  - ④HLD-581RH (H) 6½" アルミケース付 ¥?
- その他、国内外のスネアあり



素適な

プレゼント!!

ソナーズスネアドラムお買上げの方へソナーオリジナルスネアケースをプレゼント!  
(中古スネアは除く)



## ノ中古シンバル

- <Kジルジャン>  
18" Crash Ride¥17500 18" Medium Crash¥16500
  - <Aジルジャン>  
20" Heavy Ride¥9800 20" Medium Ride¥14800 18" Mini Cup Ride¥15000  
18" Mini Cup Ride¥12500 17" Medium Heavy Crash¥12800
  - <PAisTe>  
602シリーズ 20" Medium¥18800 サウンドクリエーション 18" Dark Ride¥16500
  - <PROFILE>  
20" Ride ¥19800
  - <TOSCO>  
20" Crash ¥11800
  - <PEARL>  
CX-500 20" Ride ¥6800 CX-600 15" HAT T/B¥12800
- 他、続々入荷中

## !!中古ドラムセット

- ☆ROGERS ロンドーナ5  
BD22×14, TT12×8・13×9, FT14×14・16×16  
ダブルタムホルダー付  
カラー: イエロー ¥210000
  - ☆ROGERS JAZZ3 OLD  
BD22×14 TT13×9 FT16×16  
シングルタムホルダー付  
カラー: ホワイト ¥98500
  - ☆PEARL ワイルドウィング  
BD22×14, TT10×8・12×10・13×11, FT16×16  
カラー: ジェットブラック¥64800
  - ☆PEARL ジュニアドラムセット  
BD16×10, TT 8×6½・10×6½, FT12×10  
カラー: レッドフラッシュ ¥23000
- その他、グレッッチ・スリンガート等、格安でお求めできます。

=新製品=

- REMO ドラムセット  
NN-2501-XX BEPOP SET  
BD18×14, TT10×8・12×8、  
FT14×14 SD14×5½  
タムホルダー付 特価¥148,000



※DIXON シンバルスタンド  
JPC会員サービス価格 ¥3800

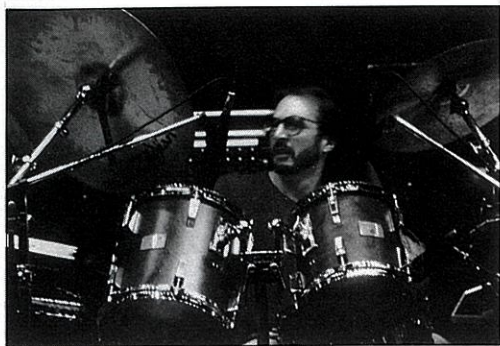


=新入荷=

- Noble&Cooley (ノーブル&クーリー) スネアドラム入荷!  
ハニーメイプル単板 7" ¥180,000→¥144,000  
ハニーメイプル単板 5" ¥180,000→¥144,000  
ホワイトメイプル単板 3½" ¥160,000→¥128,000

# スティーヴ・スミス—インタビューその1

—モダンドラマー誌より—



**ロビン・フランス:** 主な練習方法や内容、教えてくださいませんか？

**スティーヴ・スミス:** いっぱいあるね。中学生から高校生まではドラムセットを使わずにいつも練習用パッドでレコード聴きながら練習していた。いろんなドラムパターンをコピーしたり…。でもドラムセットを使わなかったことは間違ってたかもしれないな。もし持ってたらもっと早く上手くなったろうし、パッドを使うと手の練習にはいいけど足やセット全体としてのタッチなんかの練習にはならなかったからね。その頃の僕の先生はビル・フラナガンだったんだ。彼は基本を大切にすっていう古い考え方をしていたうえビッグバンドのドラマーだったせいか、パッド練習が一番大切だって強調するんだ。譜読みとより多くのテクニックを自分のものにするのを大切に考へるんだよ。だから僕はいろんな練習を集中的にしたし、何時間だって練習していられた。休みの日や夏休みだって1日中練習ばかりしてたけど、大学生になってからはあまりやらなくなったね。

だけどパークリー（パークリー音楽院）に行ってから毎日何時間も練習したし、毎日セッションかアンサンブルがあったんでプレイする機会も結構あった。夜はギグがなきゃいろんな仲間たちとセッションした。“音楽する”っていうことはプレイの体験から学んだね。これはドラムだけの勉強とは違ってたね。これから得たものってとてもタメになったよ。あんまり練習しなくてもいいと思った。

**ロビン:** どうして？

**スティーヴ:** その時はそう思ったのさ。それでいいと思った。要するにいろんな環境の中で“感じ取る”ってことが大切なんだ。“エルビン・ジョーンズも練習しなかっただろうな”っていう風。

モントローズのバンドやボンティと一緒にプレイした時、また練習する時間がなくなった。ライブばかりで軽い練習くらいしかしなかったね。ジャーニーに入った時は、皆で新しいフレーズを作る必要があったんで沢山練習した。それまで早くて大きな音で刻んでりゃいいと思ってたのに、あそこに入ってからとってもゆっくりで確実にプレイを要求されてた。“ゆっくり”と“確実に”っていう2つの点は、それまでの僕には無かったものだったんだよ。

**ロビン:** ジャあ、それがジャーニーでの初仕事だったんですね。**スティーヴ:** そうだね。ギグのために練習し始めたよ。毎晩のギグとは関係なくドラムのためだけの練習さ。週一度ポリリズムのような複雑なレッスンを受けた。

**ロビン:** “ゆっくり”っていうのはどう練習しました？

**スティーヴ:** ドラムマシンを使ったんだよ。最高だったね。安いドラムマシンを手に入れてきてアンプを通して大きな音を出しながら練習した。何時間も繰り返しね。好きなように

できたし、テープに入れてうまくやってるかどうかとも研究することができた。“うん、よし。どんな感じかな”なんて。いろいろ研究してビートの位置を決めていった。タイムの取り方が違ったり、練習の成果がなかなか出なかったりしたけど、確信はあったね。そのうちいろんなパターンが思い通りにできるようになって、ドラムマシンがなくてもあるような感じで好きなようにできるようになった。これが自分のものになった時、練習の成果を得たのさ。とても役に立ったと思うのは、足で確実にキープテンポするために、サンバをスローテンポにして練習したこと。手は使わないんだ。そうしたら手よりも足の方が大切なんだってわかった。

フットワークが終わったら手の訓練に移る方法が一番だよ。僕の場合足の訓練を沢山しなけりゃならなかった。とっても単純なことをやったな。例えば4分音符とか8分音符。スローテンポの時は間違ったポイントでビートしやすくなる。少し早くなったり少し遅くなっちゃったりね。1つの音符と次の音符の間隔ってものすごくあるんだ。この感覚は練習方法を変えてようやくわかったね。そのうちスタジオやライブで自然にプレイできるようになった。

—長い時間かかったな。ほとんど毎日4～5時間たたいていたし、出来ない日でも必ず何かはやってた。毎日練習すりゃ何か変わるってのは本当さ。

**ロビン:** ジャーニーのために経験したことって何ですか？

**スティーヴ:** 一度もやったことのないダブルベースドラムを練習したこと。力が入ってたね。

**ロビン:** どんな練習？

**スティーヴ:** まず、もうひとつBDを手に入れた。左足をリードさせて練習した。僕の場合、ハイハットの左足がリードしてたんだ。そのうち2BDの練習方法を考え始めた。右足にリードさせなくなったんだ。フィル・インの時手足一緒に使うとぐずれちゃうんだよ。そこでコリン・ベイリーの「バスドラム・コントロール」って本を買って来た。あの本は1BDとスティック・ワークについて書かれてるんだけど2BDの練習用に僕は使ったね。スティッキングや、手足のコンビネーションを何もかもRL、RL、RL…のアプローチで練習したんだ。この本に書いてあることを習得して何でもこなせるようになろうとした。おかげで感覚も鋭くなったし、何でも自由にできるようになったね。 <つづく>



# 打楽器あれやこれや…vol.11 岡田知之

NHK交響楽団打楽器奏者  
国立音楽大学専任講師  
東京芸術大学講師



## ボンゴ Bongos Bongo drums

マンガに登場する可愛い動物の名前にしても似合う呼び名のこの楽器は、小さい2個の片面太鼓をくっつけて1組としたもので、英語の綴りには複数のSがつけられている。中南米系のリズム演奏で馴染み深いのが今日では現代音楽にもよく使われる。また日本の大太鼓や鞆鼓の代用品として使われる時もありなかなか重宝な楽器である。元来は膝の間にはさんで指や手のひらで奏するものだが近頃は取り付けるスタンドも色々工夫されており、撥を用いての演奏もあたりまえのようになっている。誰が叩いてもタイコの音はであるが、ラテンリズム奏法を修業したプレーヤーが叩くと、一般の人とまったく異った音色とリズムが奏でられる。厚さが3cm位ある木製の胴でつくられたものは胴に調律用のネジを通す穴があり外からは見えないようになっている。調律用のネジが胴の外側についている種類もあるが、これは膝にはさんだ時、やや痛い。ヘッドは動物の皮がよく使われるけれど最近では他に間に漏れず合成皮が張られている。動物のヘッドよりも惜しげなく叩けるのでスティックで叩く場合などには便利である。

## 梵鐘

いわゆる釣り鐘のこと。大晦日になると急にみんな信心深くなり近所のお寺に初詣に行きこの鐘をつかせてもらう。打って音を出す打楽器の一種だが太い棒を綱で吊って振って棒の先を鐘に当てるので撞くという表現がなされる。ペルリオーズの幻想交響曲にはCとGに調律した教会の鐘が使われている。この鐘が日本では入手困難だった頃梵鐘の産地で数ある鐘の中から音程の近いものを選んで持ち帰り幻想用として使っていたオーケストラもあった。現在では輸入品が手軽に入手出来るようになってきている。しかしお金も必要である。

## 祭太鼓

神社の祭礼の祭ばやしに用いる太鼓のことであるが、商店街や町内会には大きい太鼓が1台は備えてあり祭りの主役となる。祭りの頃になると広場や横丁に台車を乗せたものや、やぐらにのせた太鼓が現われ近所の子供達によってドコドコ、ドーンと、ひがないちにち叩かれる。この太鼓、大きさは大から小まで様々で、目方も1人で持てるようなものから6~7人かかってやっというでかいものまで千差万別である。胴は一本の太い木をくりぬいて作るのだが、昨今はその職人の数も少なくなりつつあると聞く。このような素晴らしい伝統芸術楽器が化学合成物でつくられるようなことにならないよう大切にしたいものである。

## マラカス Maracas

やし科植物のマラカの実を干して中身をとり乾いた種子などをに入れて振ってリズムをとる楽器。ラテンアメリカ系の音楽に主として使われるが現代音楽に至るまでその使用範囲はたいへん広い。2つを一組として奏するので、マラカスと複数形でよんでいる。木やプラスチックで代用して作られたものがあり特に木でつくられたものは一般に広く使われている。C.チャベスの打楽器アンサンブル曲「トッカータ」ではマラカスが効果的に使われている。作品によってはティンパニやコンガのヘッドをマラカスで叩く奏法が要求されることがあるが、この場合木や本物のマラカの実の楽器を使うと割れることがあるのでプラスチック製を用いることをすすめる。

## マリンバ Marimba

数ある打楽器の中で今や一番ポピュラーで親しまれ、ピアノと同じように一般家庭で弾く趣味の楽器となりつつあるもの。日本からはこのマリンバの秀れた奏者が幾人も出ており、音楽大学でも優秀な奏者が続々と育っている。幼稚園や小、中、高生に同好者も多く全国組織の会もたいへん発展している。この楽器は木琴の親類で音板は木で作られる。木琴よりも軟らかい音色を持ち音域も広い。現在ますます音域の広いものが研究されている。2~6本のマレットを持って演奏するのだが才能と練習によって相当複雑な楽譜もこなせるようになり、そのテクニックに対する作曲家の要求はますます高度なものになっている。反面単純な旋律をポンポンと叩いても似合うので好かれている。世界的傾向で木が少なくなった昨今はこの楽器にも化学合成物質による音板が研究された既に何種かの新種音板がつけられている。また共鳴管も透明なプラスチック製のものが登場するようになった。音域の中も広くなり2m70cm~3m位のものもあり6畳一間では入りきれない楽器もある。19世紀の始めにかけての頃にはグアテマラでは7~11オクターブという長いものもあったそうで11オクターブのマリンバは音板が137枚、奏者は7人位を要したとのことである。原初の時代、地面に掘った穴にわたした板を叩いたのが始まりとされ、アメリカでは共鳴にひょうたんを使ったりしていたものが南米やアメリカで発達、長い歴史を持つこの楽器は打楽器の中で唯一、一台だけでコンサートを行える楽器でもありこれからはどんどん発展するものであろう。

## ミュージカル・グラス Musical Glasses

品質のよいコップ(値段の高い)のふちを、ぬらした指でこすっているうちに摩擦音が生じる現象がおきる。この音を音楽に用いたものがミュージカル・グラスである。大小のコップにより生れる高低の音を音階順に配置して擦りのテクニクの妙味を見せ、きかせる楽器。古くは1673年頃の楽器が存在した記録があり、現在ではドイツの奏者によるレコードも発売されている。このレコードではミュージカル・グラスと言わず、グラス・ハーブという名前を用いている。

## ミュージカル・ソー Musical Saw

ソーとは鋸のことである。日本式の鋸は両刃であるが西洋式鋸は片刃であり日本のそれよりは長目になっている。その鋸の刃のついてない側を弦楽器用の弓で弾いたり軟かい撥で叩いてハガネの音色をつくりだす楽器である。元来は大工道具であるが楽器として用いる鋸は楽器メーカーによって作られたものである。しかし一般の大工道具店で取扱っているものでも充分音を出すことが出来るので、工具店から楽器を購入することはいない。弓で弾く音色はさしずめユーレイの登場といった感じである。響のある音を作り出すには鋸の握りの部分をしっかりとひざにはさみ、親指と人差指で先の方を曲げるようにしっかりと相当力を入れてつまみ、弓で弾く。余韻にビブラートをかけるには握りにはさんで貧乏ゆすりをするのである。この鋸専門のプレーヤーによるコンサートが開かれたこともある。

# JPCライブ・クリニック・Video新発売!!

——クリニックがビデオになった!——

JPCでは過去・現在において、数多くのクリニックを開催し、毎回たくさんの受講者を迎えて熱気あふれる講習を展開しております。この有意義なクリニックに参加できなかった人、じっくり研究したい人のために、クリニックの様子をビデオに収めました。第1回発売は、スネアドラム、ティンパニ、パーカッション・アンサンブルの3本です。



Vol.1  
スネアドラム・  
クリニック  
(60分)

インストラクター 松倉利之 (東京コンセルヴァトアール尚美講師)

スネアドラムの基礎練習として欠かせないルーディメントを中心とし、曲想や音色等の基礎練習も組み込まれている。タイコを叩く人なら誰にでもオススメのビデオ。

定価19,800円 (会員価格18,000円)



Vol.2  
ティンパニ・  
クリニック  
(60分)

インストラクター 上野信一 (国立音楽大学講師)

美しい音を聞きながら、基礎的な練習を様々な展開し、後半のソロ曲で音楽を豊かに表現してゆく。インストラクターは竹製シャフトのマレットを使用しているため、竹バチを持っている人には特に得るものが多いはず。

定価19,800円 (会員価格18,000円)



Vol.3  
パーカッション・  
アンサンブル  
クリニック  
(60分)

インストラクター 有賀誠門 (東京芸術大学助教授)

高校生のモデルグループが演奏する2つの曲にアドヴァイスを与えてより高いレベルで完成させる。基本的な曲作りのお手本となる。後半はデモ演奏も入っていて楽しいビデオ。

定価19,800円 (会員価格18,000円)

お申し込み、お問合せは  
ジャパン・パーカッション・センター  
Tel 03-845-3041まで。

## コンサート案内

### 安倍圭子全国縦断コンサート

安倍圭子の尽きることのないエネルギー、豊かなイマジネーション、鮮やかなテクニック、——これらをコンサート“Passion”に凝縮しました。

世界の最先端をいきながら、難解でなく楽しめるコンサート。単なる“Virtuoso(技巧家)”にとどまらず彼女は世界中から“Virtuoso Artist(芸術家) KEIKO ABE”として絶賛されています。常にマリンバの新しい可能性を求め歩み続ける安倍圭子が今回はオランダの有名な打楽器合奏団「サークル・アンサンブル」との共演により、リズムの本質に迫ります。

＝公演日程＝

- 7月21日 東京 有楽町朝日ホール(マリオン)  
7時開演 3000円
- 8月6日 名古屋 電気文化会館ホール  
6時半開演 2500円
- 8月7日 大阪 府立労働会館  
6時半開演 3000円
- 8月8日 松山 県民文化会館  
6時半開演 2500円

- 8月16日 札幌 道新ホール  
6時半開演 2500円
  - 8月18日 仙台 仙台市民会館 6時半開演 2500円
- ☆JPC会員は1割引きです!

### 上野信一&田中浜 美の競演

6月2日(火) 18時52分(日没)より  
日比谷シティ広場特設ステージにて  
チケット1枚3500円也(JPC会員1割引)

### 松倉利之・山口多嘉子パーカッションデュオリサイタル

6月5日(金) 7時開演  
石橋メモリアルホール  
全自由席 2500円

### 荒瀬順子パーカッションリサイタル“ムスカディン”

6月5日(金) 7時開演  
新宿文化センター(小ホール)  
全自由席 2500円

各コンサートのチケットお問い合わせは、ジャパン・パーカッション・センター (03-845-3041) へ。

### 岡田知之打楽器合奏団 ギリシャ・パトラス国際 フェスティバルに出演

昨年よりギリシャのパトラス市 (Patras) で開催されている国際フェスティバルは、今年が2回目です。6月10日より8月10日迄の3ヶ月間の開催が決定。そのフェスティバルに岡田知之打楽器合奏団が招聘され、8月3日より10日間の予定でパトラスに滞在、8月7～8日のセミナーと9～10日の2回の演奏会を行うことが決定しました。2回のコンサートのうち1回は全て日本人作曲家による作品で同合奏団がこれまでに委嘱した作品中心のプログラムとし、2回目のコンサートではギリシャの作曲家が合奏団のために作曲する新作を含め様々なジャンルの打楽器曲によるプログラムを構成する。打楽器類は全て日本より運搬するため大荷物をかかえた旅行になるようだが、現在の日本の打楽器界の隆盛ぶりの一端を知らしめる機会となるよう団員一同よい仕事をしようと張り切って演奏準備を始めている。

# お年玉ビッグ プレゼントクイズ 当選者発表

こたえ

## マーチングパstrom

1	ミ	7	ト	ツ	エ	ル	6	シ	シ	5	カ	
	ツ		ー	ツ	ラ	イ	13	ラ	12	バ	ン	
	キ		キ	14	ク	ラ	16	ク	タ	ン	4	ス
	ー		ン	ル	ク	ル	ウ	リ	ン			
	マ		グ	ー	シ	ヨ	15	ド	11	カ	サ	
	ウ		ド	ガ	ー	ラ	ン	10	タ	ツ		
2	ス		ラ	ム	8	チ	9	エ	レ	ス	ネ	
	ラ		イ	ド	ホ	イ	ツ	ス	3	ル		

☆寸評：今回は、「難しい」とのお言葉が大変多く、そのせいかわガキの総数も例年に比べ少なかったようです。  
賞品は抽選の結果、下記の方々に贈られました。オメデトウゴザイマス。

### 〈特別賞〉 スネアドラム時計

### 〈A賞〉 KMKチャイナシンバル

### 〈B賞〉 JPCマレットケース

### 〈C賞〉 JPCキーボードマレットセット

### 〈D賞〉 ソナー・スポーツタオル

### 〈E賞〉 ソナー・Tシャツ

### 〈F賞〉 JPCタンバリン10"

### 〈G賞〉 JPCタンバリン6"

## ◀JPCだより▶

### ■JPCサマーキャンプ開催のお知らせ

大好評のJPCサマーキャンプ。今年も下記のとおり開催いたします。詳細は次号でお知らせします。

期日：昭和62年7月28日(火)～8月1日(土) 4泊5日

場所：河口湖畔民宿「流石」

インストラクター：有賀誠門他

参加料：50,000円

定員：20名

お申し込みは参加料を添えてお申し込み下さい。

### ■会費納入のお願い

昭和62年分会費未納の方は、同封の振込用紙にて納入ください。行き違いお振込みの場合はご容赦ください。

### ■ライブ・アンダー・ザ・スカイ'87

今年も7月25日からライブ・アンダー・ザ・スカイが開催されます。ソナードラマーは、ジャック・ティジョネットとロナルド・シャノン・ジャクソンの2名が参加。炎天下の中でジャズを聴くのも良いものです。

### ■コマキ楽器休業のお知らせ

5月23日、6月23日定休日のため、コマキ楽器は休業させていただきます。

## 表紙

### ソナーライト PAシリーズ

昭和62年5月20日発行  
発行所 J・P・C・事務局  
〒一一一 東京都台東区西浅草一七一  
(コマキビル6F)  
電話 〇三三四五三〇四一(代)  
郵便振替口座 東京九一五三二一五  
加入者(株)コマキ楽器

編集後記

気違いじみた春が去り、ようやく初夏を迎えようとしていますが、思い出したように寒く夏なったり暑くなったり……。テラ様は大丈夫なんでしょうか。

誰か名付けたかともつても日本的な名前のゴールデン・ウィークを目前にしてこの原稿を書いているんですが、JPCやDCはカレンダーの赤い数字なんぞ全く関係ないわけです。

当コマキ楽器の社員面々はGWのせいもあるのか何となく皆ホンワカらしく、せつせつと植木を一番偉いK氏がお家を改築するらしく、せつせつと植木を会社に運んで来ては水をやり、一時の借家住まいをさせています。T氏は子供2人妻1人をかかえて空気の良い所に疎開しようかと考えています。「公園がいいな」といつもひとり言を言っています。I氏は1Fから2Fへ移住します。広い部屋に移れると喜んでいますが、あまり変らない広さだと知ってガックリ落ち込んでいます。O氏は神戸へ帰り、もひとりのO氏は仙台の田舎に行くそう。さらにもひとり、オーボエの吹き過ぎかスキーで力み過ぎてケンシヨウ炎になったO氏は伊豆へのどこかに温泉旅行。ファミコンを朝までやっていると、リトナーのビール付コンサートに行き、レゲエ大好きY氏は、真夜中(というか早朝というか)に渋谷でライブするかも。ゴルフ好きのN氏は、エレキトリック・ギターはコンセントを差し込むと音が出ると思い込んでI氏は子供を連れて遊園地ではしゃぎまわり、姿形からはとつても想像できない愛妻家のK氏と子ほんのうのK氏はそつて家族サーブिस……。仕事大好き、いつもパワフルなK氏は朝から深夜まで都内あちこちに出没し、おまけに家でも仕事する。本当は休日気分を味わいたかったN氏とM氏皆に「ここの休む!とかこの日休ませて」とか「この日は絶対出社しな!」とか言われて可哀想にGWどころか休みまったくなし。でも代休に希望を託して一所件命、ガンパッテ。何のかんの言ったって、お天気は好いし、ビールはうまいし、未成年のひとはカルビスでも飲んで、ジメルはうました梅雨、暑い夏を乗り切るエネルギーも充填してください。

I M I